

「2009年版中堅・中小企業のIT投資動向に関する実態と展望」を発売

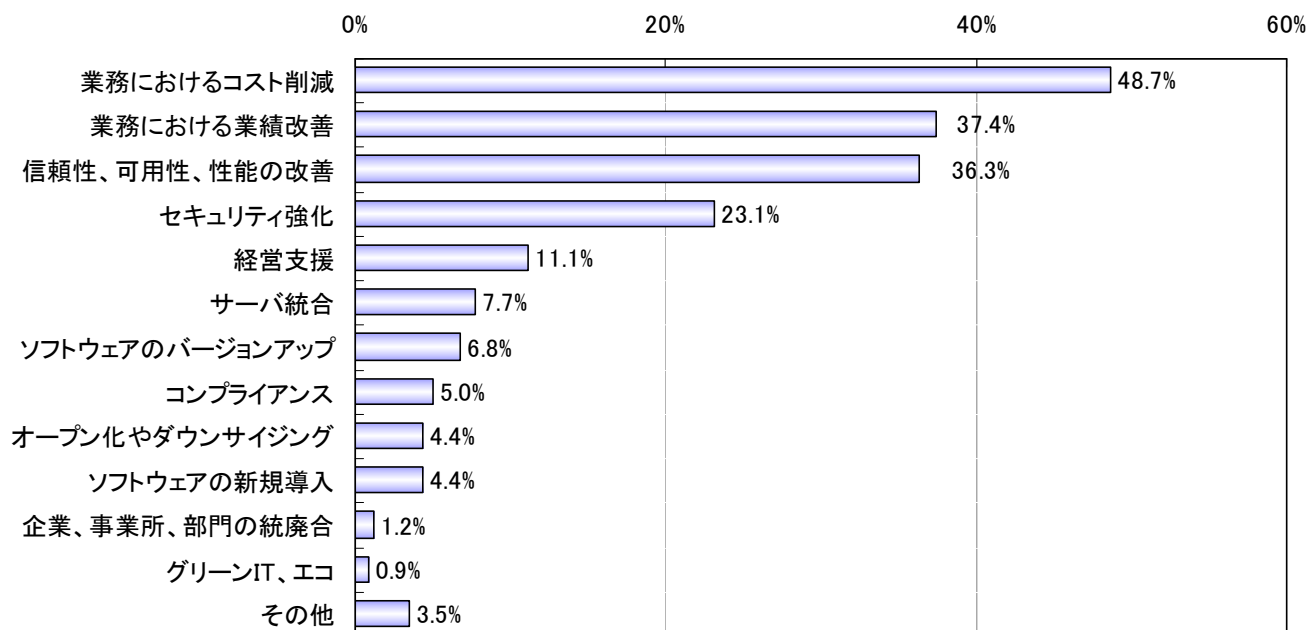
株式会社ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705：代表 伊嶋謙二 03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は中堅・中小企業市場におけるサーバハードウェア、クライアントPCハードウェア、各種ソフトウェアを始めとするIT投資全般の現状と今後を網羅した年刊レポートの最新版「2009年版中堅・中小企業のIT投資動向に関する実態と展望」を発売した。

- 重要投資ポイントの三大項目はコスト削減 / 業績改善 / 事業継続計画
- 導入予定サーバベンダでは富士通、NECといった国産ベンダが優勢
- サーバ導入パターンは「ベンダから情報収集、自社内で選定」が主流
- SaaS活用に対してユーザ企業は冷静、投資対効果をシビアに判断

一重要投資ポイントの三大項目はコスト削減 / 業績改善 / 事業継続計画

今後、サーバ導入やサービス活用を検討する際に重視するポイントとしては「業務におけるコスト削減」「業務における業績改善」「信頼性、可用性、性能の改善」の3点が多く挙げられている。これまで中堅・中小企業は業務システムの安定稼働に関してはそれほど厳しい要件を必要としていなかった。しかし、景気が後退している局面では業務システムの停止が企業存続にも直接影響しかねない。こうした背景から、コスト削減と業績改善といった従来から挙げられている重視ポイントに加えて、「信頼性、可用性、性能の改善」といった回答の比率が高まっていると考えられる。「企業の信頼」という観点ではセキュリティも引き続き重要であり、4位に挙げられている。

サーバやサービスを検討する際の重視ポイント

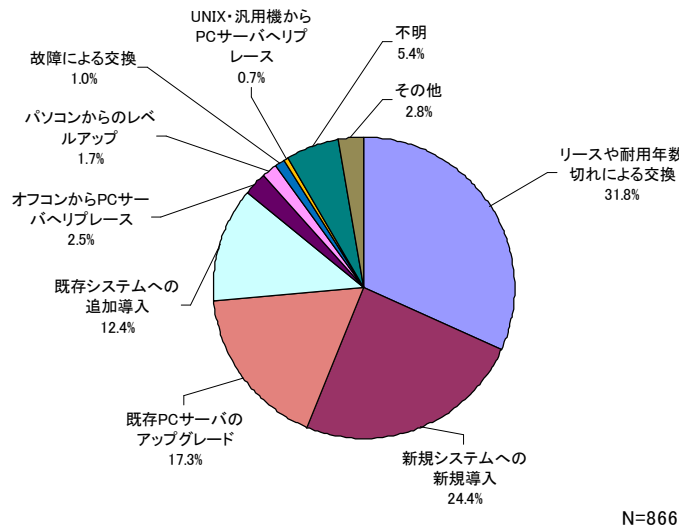


一 導入予定サーバベンダでは富士通、NECといった国産ベンダが優勢

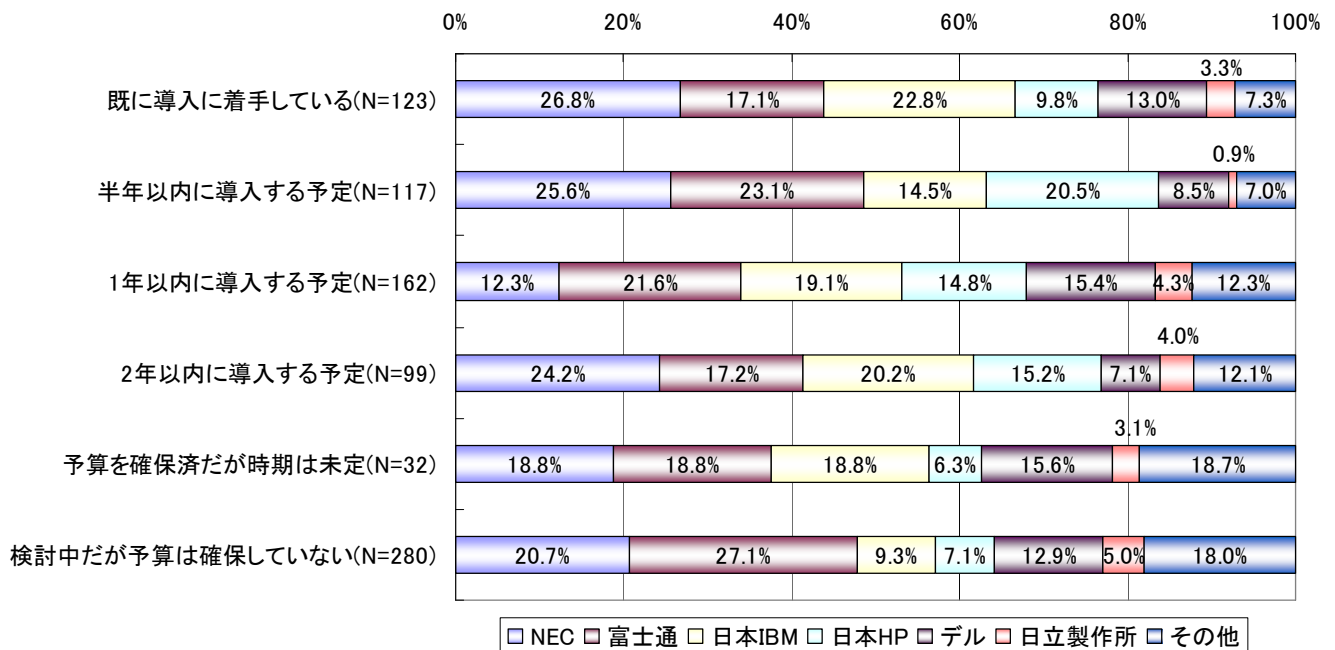
導入を予定しているサーバの導入パターンを見ると、新規システム構築に伴う導入よりも、リースや耐用年数切れによる交換の方が多くなっている。経済不況の影響により、ユーザ企業はIT投資の抑制を強めつつある。こうした状況下では過去に多くのサーバ導入実績を持つ国産ベンダの買い替え需要が2009年以降のシェアに少なからず影響を与えてくると予想される。

導入予定時期毎のサーバベンダ比率を見ても、直近1年以内の導入では富士通やNECといった国産ベンダの占める割合が比較的高くなっている。

導入を予定しているサーバの導入パターン



導入予定時期毎のサーバベンダ比率

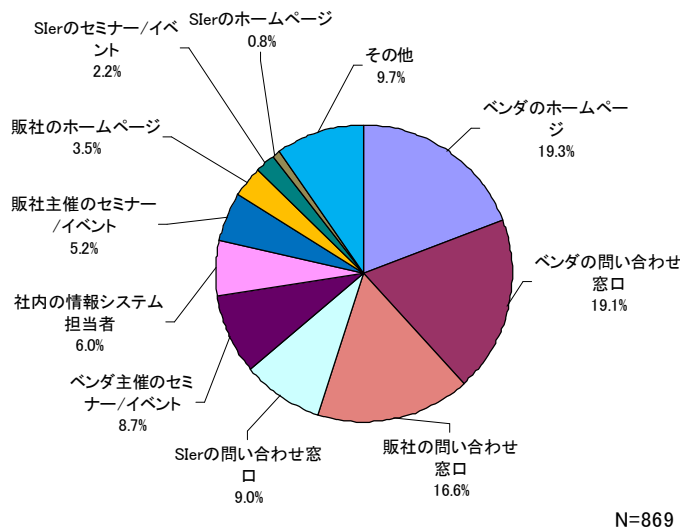


サーバ導入パターンは「ベンダから情報収集、自社内で選定」が主流

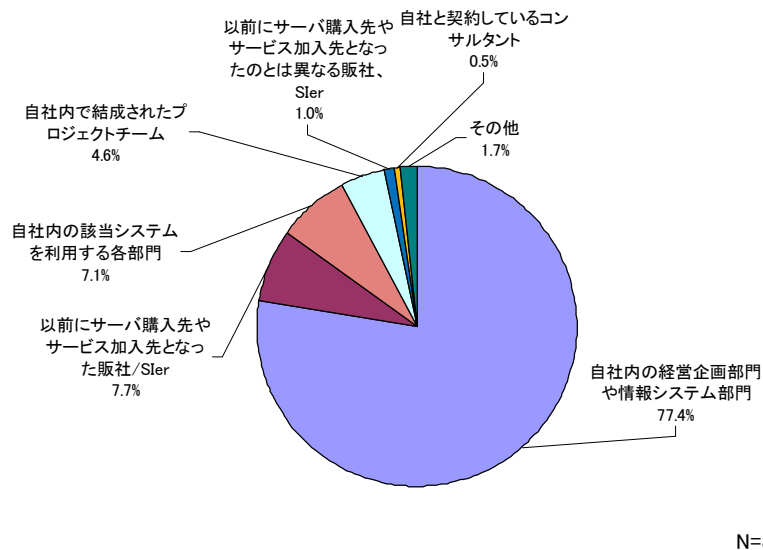
以下の2つのグラフから、ユーザ企業がサーバを導入する際の情報収集と選定のパターンとしては「ベンダから情報収集、自社内で選定及び決定」が多いことがわかる。コスト削減の一環として、ユーザ企業はサーバの運用管理作業を自社内で行おうとする意向を強める傾向にある。そのため、自社内での具体的な運用場面を想定し、自社の判断で検討を進める傾向が今後も強まると予想される。

ベンダとしては「必要な情報が容易に閲覧・検索できるWebサイトの整備」「問い合わせ窓口での応対品質の向上」「ユーザの運用環境に即した投資対効果試算が可能なツールの提供」といった様々な工夫が求められてくる。

サーバ導入やサービス利用に際して重視する情報源や相談先



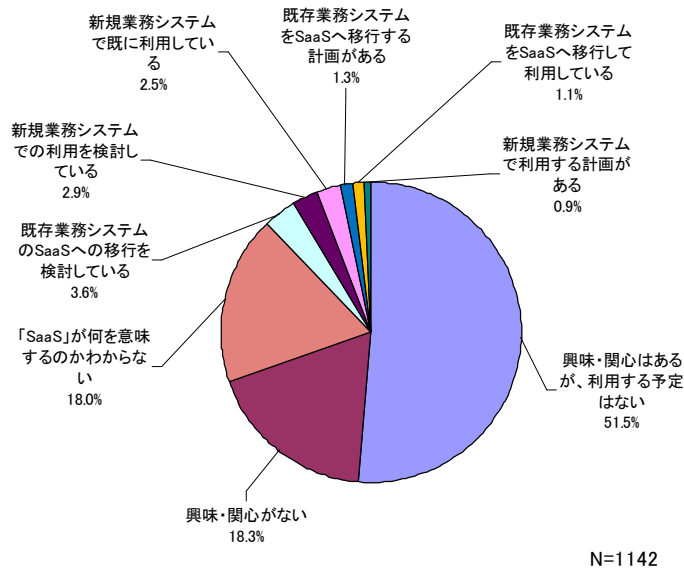
サーバやサービスを選定する担当者



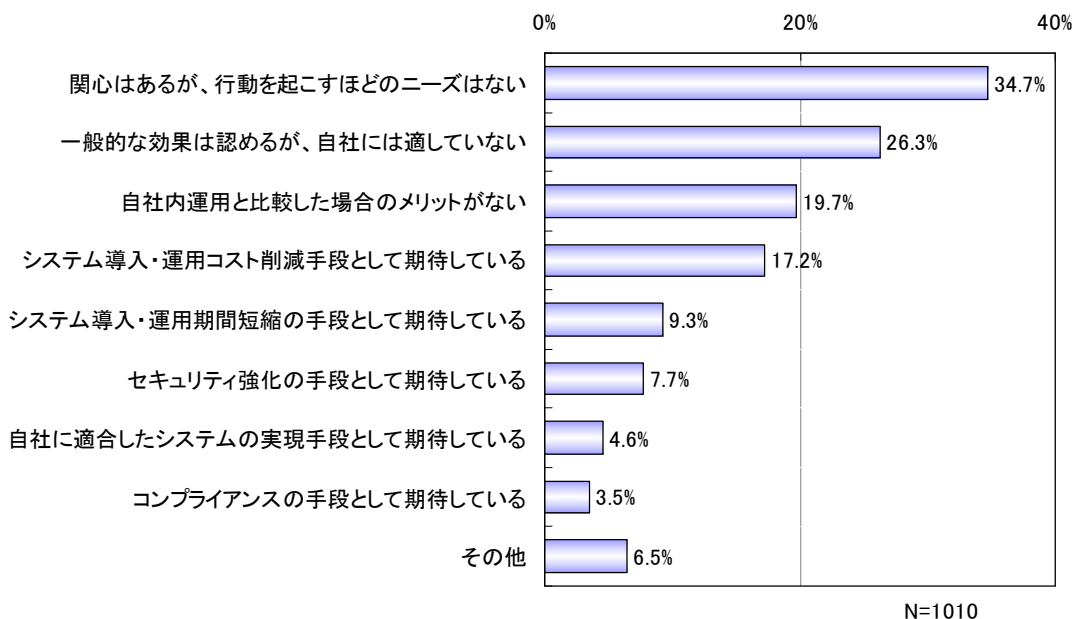
—SaaS活用に対してユーザ企業は冷静、投資対効果をシビアに判断

SaaSに関しては2008年時のブームともいえる状況がやや収束し、ユーザ企業が冷静になり始めている状況が伺える。現在SaaSと呼ばれているものの多くは、既にユーザ企業内で利用されているWebアプリケーション（主にグループウェアやメールなどの情報系アプリケーション）をサービス形態で提供しているものが多い。そのため、サービス形態へと移行することで得られるユーザ側のメリットが見出しにくい。むしろ利用するアプリケーションが変わることによる業務効率の低下や社内の業務システムとの連携ができなくなることを懸念する声も少なくない。提供側としては、単なるWebアプリケーションのオンライン版ではなく、ユーザ企業がSaaSならではのメリットを享受できるサービスを開発、提供していくことが求められる。（SaaSに関する詳細は「2009年版SaaS市場の実態と中期予測」参照）

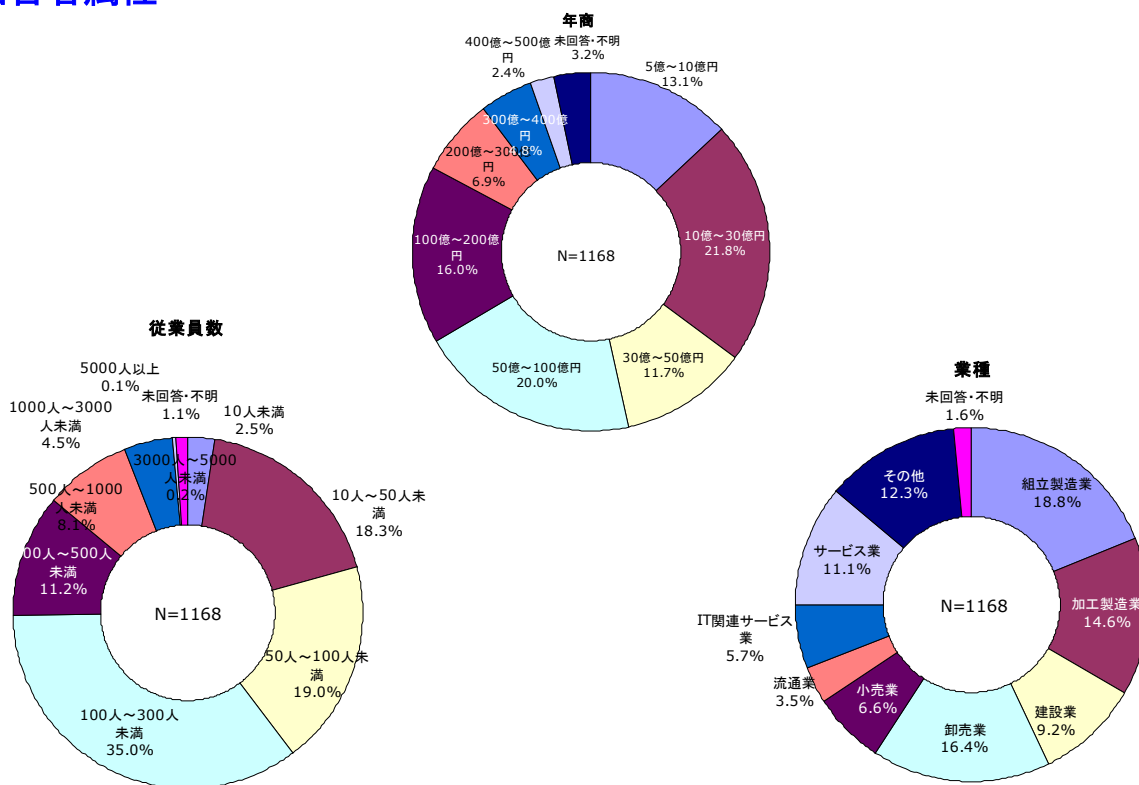
SaaSへの取り組み状況



SaaSへの期待



— 回答者属性 —



調査概要

【対象企業】全国の年商5億円以上~500億円未満の民間企業7000社
 【有効回答数】1168社
 【調査方法】郵送アンケート
 【調査実施期間】2009年1月~3月

レポート概要

【発刊日】2009年4月13日
 【仕様】体裁:ハードコピー版(A4判約100ページ)/CD版(Microsoft Word/Excel形式)
 【価格】99,750円(税込)
 【概要】

- ・サーバ利用用途(基幹系、情報系、インフラ系など8項目)毎のPCサーバ導入予定に関する以下の項目
 導入予定時期、ベンダ名、購入先
 OS、CPUタイプ、形状(タワー型、ラック)
 導入の経緯(新規、追加、ダウンサイジング、リース切れなど)
 導入検討の際の情報源や重視ポイント
- ・SaaSへの取り組み状況
- ・省電力化やCO2排出削減に関する重視ポイント
- ・各種業務アプリケーション、ネットワークインフラ、ストレージなどに関する投資意向

本リリースに関するお問い合わせ

NORKRESEARCH

株式会社ノークリサーチ
 担当: 岩上由高
 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
 inform@norkresearch.co.jp
<http://www.norkresearch.co.jp/>